

## 編集後記

編集委員を仰せつかり、ほぼ毎週のように査読原稿を読ませていただいている。臨床神経学には地方会等で発表された集大成として、症例報告が多く投稿される。現場で働く医師としては毎日の業務をこなすのだけでもたいへんだと思うが、論文投稿する熱意にいつも感心している。自分が、学会で発表するようになった頃に、学会発表時には投稿できる原稿が書きあがっているように準備しておくのがよい、という指導を受けたのをよく覚えているが、不肖の弟子としてはなかなかできなかった現実がある。国家試験にしても学会発表にしても、最も知識が高まったピークで望むようにするのであるから、その時期に論文が書きあがっていれば、理想的である。入院サマリーを退院時に書き上げるのが最も効率が良いのと一緒である。国家試験と一緒に、学会発表後、発表に関連する知識は指数関数的に減ってしまい、もう一度報告を書くのはかなりの労力が必要となる。あとで同じような症例が来てからまとめて、

とか、もう少し調べてから、とか思っているうちに、埋もれてしまった報告のなんと多いことだろうか。学会発表では論文も一緒に作成する習慣を作れていれば、もっと素晴らしい医師になれたのではないかと思うこの頃である。若い医師には是非そういった習慣を作って欲しいものである。

臨床神経学の査読を多くの著名な先生にお願いしているが、お忙しい中、的確に迅速に対応していただけている。しかも、以前の「けんもほろろ」のような内容ではなく、実に教育的で、次につながるような査読が多く、これも読ませていただくととても勉強になる。一生懸命書いた論文に対して、評価をいただく怖さはあるだろうが、成長できる一歩となること、間違いなし、である。臨床神経学は、神経関係の邦文誌としては最もハードルが高い雑誌のひとつであると思うが、是非、どんどん投稿して、挑んでいただきたい。

(星野晴彦)

## 〈編集委員〉

編集委員長 鈴木 則宏      編集副委員長 河村 満  
 編集委員 荒木 信夫   飯塚 高浩   池田 昭夫   亀井 聡  
          瀧山 嘉久   西野 一三   野村 恭一   星野 晴彦  
 編集委員(幹事兼任) 園生 雅弘   高尾 昌樹   森 秀生

「臨床神経学」	第55巻 第7号	平成27年7月1日発行	
編集者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発行者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		高橋 良輔
印刷所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発行所   〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル  
 日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>